

(1) 経済理論コースの履修系統図

| 科目区分別の学修目標 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|---|---|--------------------|--|-------------|---|-------------|--|-------------------|
| | 第1 Semester | 第2 Semester | 第3 Semester | 第4 Semester | 第5 Semester | 第6 Semester | 第7 Semester | 第8 Semester |
| 演習関連 基礎演習では、大学生生活に必要な知識と技能、専門学修に必要な基礎学力を養うことができる。演習Ⅰ・Ⅱでは、経済学を中心とする知識や技能、思考法等を養うとともに、自分の興味・関心、将来の進路志向に合わせてテーマを設定し、最終的に卒業研究としてまとめていくことができる。 | 基礎演習A | 基礎演習B | 演習ⅠA | 演習ⅠB | 演習ⅡA | 演習ⅡB | 演習ⅢA (必修) | 演習ⅢB (必修) 卒業論文 |
| 学部基礎科目 経済および経済学の基礎と、大学生として必要な情報スキル・知識を学修して、関連する基礎知識の修得と諸問題への関心を高めることができる。 | 経済学基礎 (必修) 情報リテラシーⅠ | 現代経済事情 情報リテラシーⅡ | | | | | | |
| 学部共通科目 経済学に関する基礎科目の学修を通して、専門学修を進めていく上で必要となる基本的な知識や技能、思考法を修得することができる。 | 14単位以上選択必修：第1から第4セメスターのあいだに履修することが望ましい 1年次から：経済史Ⅰ → 経済史Ⅱ 1年次から： ミクロ経済学Ⅰ → ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ → マクロ経済学Ⅱ 経済統計学Ⅰ → 経済統計学Ⅱ 経済数学Ⅰ → 経済数学Ⅱ 2年次から： ミクロ経済学Ⅱ → ミクロ経済学Ⅲ マクロ経済学Ⅱ → マクロ経済学Ⅲ 社会経済学Ⅰ → 社会経済学Ⅱ 3年次から： 経済史Ⅰ → 経済史Ⅱ 社会思想 | | | | | | | |
| コース基本科目 自分の興味・関心、将来の志望進路に合わせて選択されたコース学修において必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。 | 16単位以上選択必修：第3から第8セメスターのあいだに履修 2年次から： ゲーム理論 計量経済学Ⅰ → 計量経済学Ⅱ 経済政策論 → 経済政策論応用 産業組織論 (独占) → 産業組織論 (寡占と競争) 環境経済論 財政学 (財政と制度) → 財政学 (経費と租税) 金融論Ⅰ → 金融論Ⅱ 国際経済学 3年次から： 行動経済学 企業経済論 厚生経済学 → 公共経済論 ファイナンス論 | | | | | | | |
| その他の専門科目 (特にコースに関連する科目のみ) コース学修の応用展開を図るために必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。 | 卒業には専門教育科目から80単位以上の修得が必要である。 1年次から： 経済学部生のための経営学入門 経済学部生のための法学入門 2年次から： 日本経済史Ⅰ → 日本経済史Ⅱ 欧米経済史 日本経済論Ⅰ → 日本経済論Ⅱ 中国経済論 アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論 社会政策 労働経済学 外国書講読A → 外国書講読B ICT特別演習ⅠA・ⅡA → ICT特別演習ⅠB・ⅡB 3年次から： 上級ミクロ経済学Ⅰ → 上級ミクロ経済学Ⅱ 上級マクロ経済学Ⅰ → 上級マクロ経済学Ⅱ 景気循環論 → 経済成長論 都市経済論Ⅰ → 都市経済論Ⅱ 国際金融論 Japanese Economy → Business Economics Economic Issues in EnglishⅠ → Economic Issues in EnglishⅡ ICT特別演習ⅢA・ⅣA → ICT特別演習ⅢB・ⅣB 4年次から： 経済理論演習 | | | | | | | |
| 外国語科目 日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。 | 外国語 (必修) → 外国語 (必修) いずれか1種類の外国語4単位必修 | | | | | | | |
| 共通教育科目 幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。 | キャリア開発A → キャリア開発B → キャリアデザイン演習A → キャリアデザイン演習B → キャリア演習A → キャリア演習B 文章表現入門 卒業には共通教育科目から、いずれか1種類の外国語4単位を含む30単位以上の修得が必要である。 | | | | | | | |
| 目標修得単位数 学修目標 (学部共通) | 18~24 | 18~24 | 18~24 | 18~24 | 18~24 | 18~24 | 8~24 | 8~24 |
| 学修目標 (コース別) | 1年次の学修目標 (学部共通) ▷ 経済学に関する基礎的知識を修得する。 ▷ 読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる力、グループワーク力、プレゼンテーション力といった汎用的技能を身につけるトレーニングをする。 ▷ 外国語能力を伸ばす。 ▷ 興味・関心に応じて、人文、社会、自然等の教養分野の知識を広げる。 ▷ キャリアに関する意識を持つ。 ▷ 自分の興味・関心、将来の進路志向に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。 | | 2年次の学修目標 (学部共通) ▷ 経済学に関する専門的知識を拡充させる。 ▷ 実践的・能動的な取り組みを通して、汎用的技能のさらなる向上に努める。さらに、課題を見出す力をつける。 ▷ キャリアに関する意識を高める。 2年次の学修目標 (経済理論コース) ・経済学理論の中級レベルの学修を行う。 ・多様な理論的・歴史のアプローチを修得する。 ・計量経済学など実証分析の基本を身に付ける。 ・上記理論的・実証的・歴史のアプローチを活用した応用科目を学修する。 ・世界経済や日本経済の歴史や現状に関する知識を身に付ける。 ・経済に関する基本的な英語文献を読解する能力を身に付ける。 | | 3年次の学修目標 (学部共通) ▷ 卒業研究を意識した専攻分野の決定と研究に必要な情報を獲得する。 ▷ 実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決能力を高める。 ▷ キャリアに関する意識を具体化し行動する。 ▷ 演習Ⅱの学修を通じて、「実学としての経済学」を修得する。 3年次の学修目標 (経済理論コース) ・ミクロ経済学、マクロ経済学など経済学理論の上級レベルを学修する。 ・多様な理論的・歴史のアプローチを修得する。 ・上記の理論的・歴史のアプローチを活用した応用科目を学修する。 ・変容する世界経済や日本経済が抱える諸課題から自らの課題を発見し、卒業研究を始める。 ・経済理論等に関する英語文献を読解する能力を身に付ける。 | | 4年次の学修目標 (学部共通) ▷ 卒業研究を推進させて、卒業論文を完成させる。 ▷ 社会人としての心得を修得する。 ▷ 進路に関連する専門知識を拡充する。 4年次の学修目標 (経済理論コース) ・変容する世界経済、日本経済の抱える諸課題について、高度で多様な理論的アプローチ、実証的・歴史のアプローチを駆使して研究を行うことにより、卒業論文の作成とともに、経済学を実学として身に付ける。 ・変化し続ける経済を読み解き、課題の解決方法を提案できる人材として、目指す進路を実現する。 | |

経済学部経済学科教育課程

経済学部経済学科教育課程